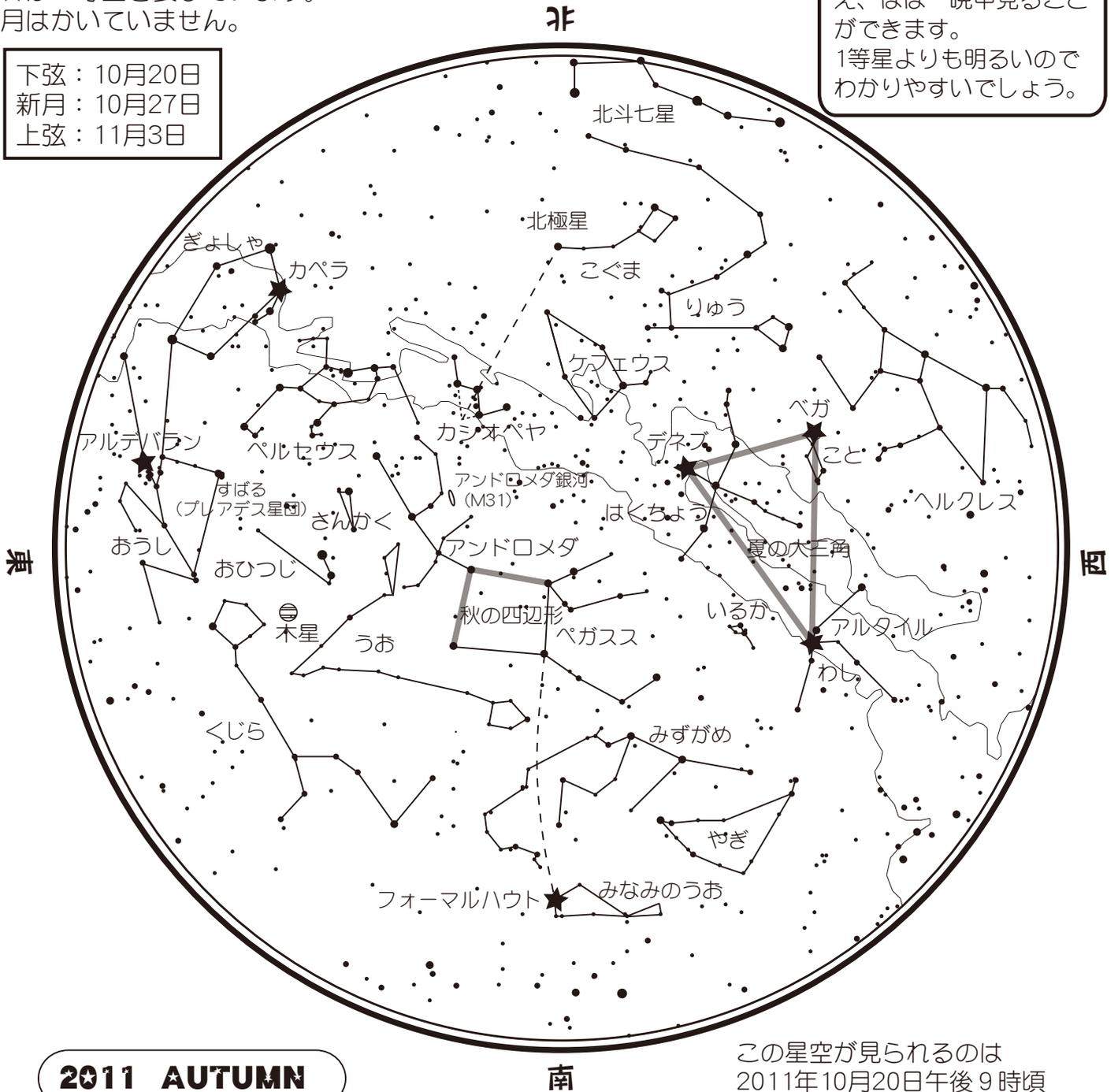


★ 姫路で見る10月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るとときには見ている方向の方位を下に下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星を見よう☆
夜の8時ごろ東の空に見え、ほぼ一晩中見ることが
できます。
1等星よりも明るいので
わかりやすいでしょう。

下弦：10月20日
新月：10月27日
上弦：11月3日



2011 AUTUMN

この星空が見られるのは
2011年10月20日午後9時頃
11月5日午後8時頃です。

夏の三角形が西の空に見える頃、星空では秋の星座が出そろいます。まずは秋の四辺形を見つけ、そこから色々な星座を探してみましょう。

秋の四辺形はペガス座の胴体の部分です。西側の辺を南の空にのぼすと秋の星空でたったひとつの一等星フォーマルハウトが見つかります。このあたりにはみなみのうお座をはじめ、やぎ座、みずがめ座、うお座、くじら座など水にまつわる星座が並びます。

ペガス座のおへそにあたる星から北東の空に並び星を線でつなぐと、アンドロメダ座が見つかります。そこから北の空へ目を向けるとペルセウス座、カシオペア座、ケフェウス座など、ギリシャ神話のアンドロメダ姫物語に登場する人々が、星座になって輝いています。Wの形をしたカシオペア座は秋から冬にかけて北の空で見つけやすくなり、北極星を探す目じるしになります。

夜遅くなると、東の空にはぎょしゃ座のカペラやおうし座のアルデバラン、すばるなど冬の星たちも見え始めます。秋の夜長は夏から秋、そして冬へと移り変わる星空を楽しんでみてくださいね。